
はじめに

人生 100 年時代を支えていく医療提供体制の構築

日本医師会では、組織としての活動を開始して以来、国民の医療に対する安心、安全に資するための活動を一貫して行っております。

本会の目的は、定款に、「本会は、都道府県医師会及び郡市区等医師会との連携のもと、医道の高揚、医学及び医術の発達並びに公衆衛生の向上を図り、もって社会福祉を増進することを目的とする」と定められ、その活動内容は、地域医療の充実を図ることを原点として、医師の倫理・医療倫理の敷衍、医師に対する教育活動、国民への医療の啓発活動、政府・自治体・行政との意見交換、さらには国際交流まで、幅広い分野に及んでおります。

近年では、人生 100 年時代ということが言われ、超長寿社会のなかで医療を過不足なく提供し、明るい健康社会づくりに寄与していくことが医師会の大きな役割となっております。本会が推進しておりますかかりつけ医機能の向上も、社会情勢とともに変化し、病の治療はもとより、予防や健康づくりの取り組みによって健康寿命を延伸し、患者さんの人生に寄り添い、共に歩むことによって、さらなる尊厳ある豊かな社会の実現に貢献しているところ

です。

医師会は、各郡市区、各都道府県にも設置されており、裾野の広い組織になっていることが、最大の特徴です。日本医師会の舵取りによっては、最前線で診療に務めている医師や、医療提供体制に様々な影響を与えることがありますので、国民の声や個々の医師の意見に真摯に耳を傾け、都道府県医師会や郡市区医師会とも対話しながら、誠実に意思決定することを重視して、国民のみなさまの幸福に資することを心がけて、会務運営にあたっております。

健康で長寿であるということは、国民にとっての最大関心事ですので、今後も幸福で安心な社会であり続けるために、充実した医療の提供に努めてまいります。

本編には、平成 30 年度の活動が網羅されております。ぜひ、ご一読いただき、日本医師会の基本方針とその活動にご理解を賜われれば幸甚です。

日本医師会会長
横倉義武